



㈱中川染工場
専務取締役
中川 ふみ氏

㈱中川染工場は明治38年創業で、歴代名力士たちの浴衣や和手ぬぐいを染めてきました。現在は、プリントの需要が多く、染物の需要は減ってしまいましたが、相撲や歌舞伎では、昔ながらの染物が現在でも使われています。今回、「宮染め」を使ったデザインが出品されたことは、今後につながるものと期待し、「宮染め」の大いなる可能性を感じました。今の若い人たちにも、染物が良いものであることを、知ってもらえるチャンスになったと考えております。

この「宮染め」のショールは、洗った時に風合いがかわり、「時」を経ることにその人だけのものがあるように……。これからの「時」をテーマに過ごしていただければいいと思います。一枚一枚を大切に扱って、チームである「時」を表現した「araisara」のプレミアムショーです。

東京コレクション

日本のファッションを世界にアピールしようと、服飾ブランドがシーズンごとに先駆けて新作を発表するプレタポルテ(高級既製服)コレクションです。世界最大コレクション(パリ、ミラノ、ロンドン、ニューヨーク、東京)の一つで、東京コレクションはその最後を締めくくめるコレクションです。最近では新進デザイナーの登壇門として注目度がアップ。今春は、3月23日から28日まで開催され、荒井沙羅氏のショーは25日、東京・原宿の会場が開かれました。



東京コレクションのチラシ



来場者に配られた「時」を入れた宮染めのショール

宮染め

江戸時代中頃、着物の素材として利用された真岡本綿の木綿地を染める職人が、田川沿いに集まり、半纏や前掛けを染めていたのが「宮染め」の始まりとされています。現在、宇都宮市内で染め物をしていくのは3軒ほどで、和手ぬぐいを染めているのは㈱中川染工場だけです。同工場は液状の染料を注いで布を染める「注染(ゆづせん)」という染め方をします。色が華やかで抜けるので、裏表が全く同じように染まれます。宮染めは通気性に富み、浴衣地として使われています。



プレタポルテライン「araisara」デビューショー

宇都宮市で江戸時代に始まった染め物「宮染め」が、新進デザイナーの荒井沙羅氏の日にとまり、現代ファッションの中に取り入れられました。3月に開催された「東京コレクション」(原宿クエストホール)で宇都宮の伝統の技、和の心が、全国へ、世界へと発信。



宇都宮共和大学・宇都宮短期大学
学長 須賀 英之氏
(宇都宮商工会議所副会頭)

宇都宮共和大学の学生や宇都宮短期大学附属高等学校生活科の生徒が「宮染め」の研究をし、新しい商品開発を行い、伝統工芸を次世代に伝えていく試みをしています。今回、荒井デザイナーによる作品が、東京コレクションに出品され、全国にははたまた全世界に発信されたことは、学生にとって大きな刺激となるばかりか、地域資源の重要性や伝統工芸の素晴らしさを再認識することができ、地元宇都宮にとっても良い影響を与えることでしょう。

宇都宮共和大学では、宇都宮市の伝統工芸「宮染め」に注目し、まちづくりを活用できないか研究を続けています。松本晃子専任講師と担当ゼミの学生が中心となり職人芸に現代の若者の感覚を加えた新たな商品開発を行い、宇都宮の新しい観光イメージをつくりあげることが提案されました。また、平成19年には宇都宮市政研究センターでの「大学生によるまちづくり提案」において、宮染めをクールビズにアレンジし、コンクールで優勝しております。宇都宮商工会議所では、国の地域資源活用事業として、江戸時代に隆盛した「真岡本綿」と、それを染色してきた宮染めの関係を再興し、伝統工芸を継承するための調査研究事業を真岡、宇都宮両商工会議所の地域連携事業として実施しています。平成20年度は伝統工芸品等に対する「首都圏ニーズ調査」を行い、21年度は、さまざまなバリエーションでの商品開発の研究を大学を交えて進める予定です。



㈱アトリエ MEI
デザイナー
荒井 沙羅氏

平成9年中国でデザイナーデビュー後、日本に活動拠点を移しました。昨年、新しい視点から東洋の伝統文化とファッションの繋がりを表現するプレタポルテライン「araisara」を立ち上げました。㈱中川染工場との出会いにより、「宮染め」をデザインの一部に用いた洋服で今回の東京コレクションに参加。同コレクションでは、「古き良き伝統を未来に伝えたい」という想いから「時」をテーマに、家紋等で使われる角字という複雑な書体で字を染め付けた生地を使った作品を発表しました。

デザイナー荒井沙羅氏のプレタポルテライン「araisara」が、3月25日東京コレクションに初参加となり、その作品の一部に「宮染め」が使われました。「宮染め」と合わせ、ウールやシルクなどを用いて、さまざまな時を経て、裁ち落とされた生地を色々なカタチにし、織り重ねて新たに蘇らせたオリジナルの素材を「時織」と名付け、今回のコレクションの作品に使用しました。

東京コレクションおよび荒井沙羅氏に関するお問い合わせは ESTEEM PRESS ☎03-5428-0928